

福生 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 日本史探究

教 科： 地理歴史 科 目： 日本史探究 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（「詳説日本史」（山川出版））

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的にとらえてりかいているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	倭学位にの歴史の展開に関わる自傷の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、水位、比較、相互の関連やげんざいとつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて抗争したり、考察、抗争したことを効果的に説明したり、それらをもちに議論したりする力を養う。	倭学位にの歴史の展開に関わる諸事象について、寄り寄り社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	9 幕藩体制の成立と展開 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動を通して、幕藩体制の成立と展開について考察する。	1. 幕藩体制の確立 2. 幕藩社会の構造 3. 幕政の安定 4. 経済の発展 5. 元禄文化	【知識・技能】幕藩体制の成立と展開について理解している。 【思考・判断・表現】諸資料を参考に幕藩体制のねらいについて考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】江戸幕府と室町幕府、鎌倉幕府との際に注目し、江戸幕府の特徴について、主体的に追及している。	○	○	○	16
	10 幕藩体制の動揺 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動を通して、幕藩体制の動揺について考察する。	1. 幕政の改革 2. 宝暦・天明期のの文化 3. 幕府の衰退と近代への道 4. 化政文化	【知識・技能】幕藩体制の動揺について理解している。 【思考・判断・表現】幕藩体制が抱える矛盾について、諸資料を参考に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】幕府や諸藩の課題を見出し、主体的に追及しようとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	11 近世から近代へ 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動を通して、近世から近代にかけての社会の変化を考察する。	1. 開国と幕末の動乱 2. 幕府の滅亡と新政府の発足	【知識・技能】開国から新政府に発足に至る過程を理解している。 【思考・判断・表現】日本が開国という選択をした要因について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】幕末の政治動乱の過程を多角的に考察することを通じて、近代の学習へのつながりを主体的に見出そうとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

福生 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 日本史探究

教 科： 地理歴史 科 目： 日本史探究 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（「詳説日本史」（山川出版））

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的にとらえてりかいているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	倭学位にの歴史の展開に関わる自傷の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、水位、比較、相互の関連やげんざいのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて抗争したり、考察、抗争したことを効果的に説明したり、それらをもちに議論したりする力を養う。	倭学位にの歴史の展開に関わる諸事象について、寄り寄り社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
2 学 期	12 近代国家の成立 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動を通して、近代国家が成立するうえで必要になる条件について考察する。	1. 明治維新と富国強兵 2. 立憲国家の成立	【知識・技能】日本における近代国家が成立する過程を理解している。 【思考・判断・表現】近代国家が成立するうえで必要になる条件について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】明治維新が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追及しようとしている。	○	○	○	20
	13 近代国家の展開 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動を通して、近代国家の展開と国際社会における日本の立ち位置を考察する。	1. 日清・日露戦争と国際関係 2. 第一次世界大戦と日本 3. ワシントン体制	【知識・技能】日本が近代国家として展開していく過程を理解する。 【思考・判断・表現】日本が近代国家として展開していくうえで国際社会における立ち位置について考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】対外戦争がもたらした国内的・国際的な変化を踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見出そうとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	14 近代の産業と生活 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動を通して、近代の産業と生活の特性を考察する。	1. 近代産業の発展 2. 近代文化の発達 3. 市民生活の変容と大衆文化	【知識・技能】近代の産業と性格の特徴について理解している。 【思考・判断・表現】近代の産業や文化について多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】明治～大正期の文化に関わる政府と国民の動向を考察することを通じて、文化の特色を主体的に追及しようとしている。	○	○	○	12
	15 恐慌と第二次世界大戦 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動を通して、恐慌から第二次世界大戦の関係性を考察する。	1. 恐慌の時代 2. 軍部の台頭 3. 第二次世界大戦	【知識・技能】日本が第一次世界大戦後の恐慌から第二次世界大戦に向かっていく過程を理解している。 【思考・判断・表現】日本国内の情勢や国際社会の情勢を踏まえて、日本が戦争に向かっていく要因を考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】当時の新聞記事などから世論の動向を読み取ったり、様々な人々の議論について考察したりして、課題を主体的委追求しようとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的にとらえてりかいているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	優学位にの歴史の展開に関わる自傷の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、水位、比較、相互の関連やげんざいとのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて抗争したり、考察、抗争したことを効果的に説明したり、それらをもちに議論したりする力を養う。	優学位にの歴史の展開に関わる諸事象について、寄り寄り社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
3 学 期	16 占領下の日本 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動を通して、占領下の日本が置かれる立場について考察する。	1. 占領と改革 2. 冷戦の開始と講和	【知識・技能】占領下の日本が置かれた立場について理解している。 【思考・判断・表現】戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策及び戦後の民主化政策のねらいを考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】現代日本との関係性を踏まえながら、占領期における諸改革が生み出した成果と課題について、主体的に追及しようとしている。	○	○	○	11
	17 高度経済成長の時代 諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動を通して、高度経済成長期の時代の特性を考察する。	1. 55年体制 2. 経済の復興から高度経済成長へ	【知識・技能】高度経済成長期における国民生活や地域社会の変化について理解している。 【思考・判断・表現】高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】高度敬愛成長がもたらした国内的・国際的な日本の変化について主体的に探求しようとしている。		○	○	10
				○	○		1
							合計
							140